

[掲示用]

平成 31 年度輸送の安全目標及び計画

事業場名：	田辺運輸株式会社	労働者数：	75 人 (うち自動車運転者数 37 人)	事業内容：	一般貨物自動車運送業
所在地：	新潟県糸魚川市須沢3828	T E L：	025 - 562 - 3222	※作成者：	管理課長 関澤 雅弘

事故 ヒヤリハット 発生状況	前年度 実績	期間		人身事故				物損事故				ヒヤリハット (軽微な事故)				合計	総括安全衛生管理者 職氏名		代表取締役 松澤 英夫
		平成30年4月1日 から 平成31年3月31日 まで	平成31年4月1日 から 令和2年3月31日 まで	当方過失	当方過失無	当方過失	当方過失無	当方過失	当方過失無	当方過失	当方過失無	当方過失	当方過失無	件	安全統括管理者 職氏名		常務取締役 小柳 照一		
今年度目標	目標値	0	0	1	0	1	0	1	0	0	0	0	2	前年対比 (率)	-50.00%	安全統括管理者 職氏名	常務取締役 小柳 照一	常務取締役 小柳 照一	
今年度実績	実績値	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	前年対比 (率)	-100.00%	衛生管理者 職氏名	常務取締役 小柳 照一	常務取締役 小柳 照一	
月	行事・会議	点検整備	教育訓練	健康保持増進対策	快適な職場環境づくり	規定、基準の整備	災害防止活動	運輸安全マネジメント											
4	新入学(園)児を守る交通安全週間 (4/8~14)	機械設備、安全装置、施設の点検整備、定期自主検査、特定自主検査	新入社員安全衛生教育、各種講習、避難訓練、KY訓練、作業標準の周知	健康診断・ストレスチェック完全実施、 有所見者にかかる意見聴取等事後措置、 THP取組み、メンタルヘルス対策	作業環境の改善、作業方法の改善、 休憩施設の充実、機械設備等のリスク 低減、受動喫煙防止対策	安全衛生管理規程の整備、作業標準 の作成、整備	リスクアセスメントの実施、交通労働災 害防止の策定、取組み、小集団活動 (5S活動、KY活動など)、職場巡視	安全マネジメントの計画策定、担当者 及び社員の教育研修、実施状況等の チェックの実施、是正改善の実施											
5	世界禁煙デー(5/31) アイドリングストップ運動 春の全国交通安全運動 (5/1~20)		グリーン経営エコドライブ講習会					基本的な安全運転の指導・監督 (法定12項目) HPI情報公開											
6	全国安全週間準備期間 (6/1~30)	年次点検の実施 (クレーン:6台 重機等:3台)		産業医による健康管理講習会			経営トップの職場パトロール	乗務前乗務後点呼の確実な実施 アルコールチェックの確実な実施											
7	全国安全週間 (7/1~7) 夏の交通安全防止運動 (7/22~31) 安全祭(1日)					作業標準改訂実施	安全衛生委員会パトロール	業務管理担当者教育研修											
8	電気使用安全月間 重機・クレーン災害防止運動 (8/1~31)	局所排気装置自主点検(整備工場)	改訂版作業標準の周知	特定業務従事者健康診断(深夜業) 特殊健康診断(有機溶剤・特化質) 【該当者】	次年度36協定の提出(監督署) 有機溶剤・特化質作業環境測定 (整備工場)			事業用自動車運転者の適性診断の計 画的受診(適年)											
9	全国労働衛生週間準備期間 秋の全国交通安全運動 (9/21~30)		交通安全講習会 (講師:保険会社担当者等)		リスク低減対策の実施		経営トップの職場パトロール												
10	全国労働衛生週間 (10/1~7) 高齢者交通事故防止運動 (10/1~10/31)	年次点検の実施 (整備工場機械等)	冬タイヤ等安全講習会 (講師:タイヤメーカー、整備管理者)	睡眠時無呼吸症候群(SAS)スクリーニ ング検査	リスク低減対策の実施														
11	秋の全国火災予防運動 墜落・転落事故防止運動 (11/1~30)						本年度活動計画の評価												
12	年末年始無災害運動 (12/15~1/15) 冬の交通安全防止運動 (12/11~20) 年末年始輸送安全総点検		除雪作業の安全指導、送り出し教育		次年度1年単位の変形労働時間制届 提出(監督署) 緊急連絡体制の変更 管理者選任変更報告 (監督署適宜)	安全衛生管理体制の見直し 安全衛生組織図の変更 緊急連絡体制の変更 管理者選任変更報告 (監督署適宜)	経営トップの職場パトロール 次年度活動計画の策定 次年度活動計画の報告(監督署)	拘束時間、運転時間の把握と適正管理 (毎日、安全衛生委員会)											
1	年頭安全祈願祭(1/4) 安全衛生委員会 (毎月25日開催) 年末年始無災害運動 年末年始輸送安全総点検	事業用自動車法定点検の計画的実施 (3ヶ月、12ヶ月点検、車検) 事業用自動車日常点検の確実な実施 (毎日)	雇入れ時教育(若千名) 技能講習等の計画的取得	メンタルヘルス相談の受付 (衛生管理者)	時間外労働実績の確認 (安全衛生委員会時)	管理者選任変更報告 (監督署、随時)	安全管理者による職場巡視 (毎日) 衛生管理者による職場巡視 (毎週月曜日)	安全マネジメント推進委員会 (安全衛生委員会併催) 初任運転者に対する指導教育 (法定項目+添乗指導)											
2	職場の健康診断推進運動 省エネルギー月間 スリップ事故防止運動 (2/1~28)		職長、安全衛生責任者教育	一般定期健康診断の実施 (73名) 特殊(有機・特化物)健康診断の実施 (1名) ストレスチェック実施	有機溶剤・特化質作業環境測定 (整備工場)		業務担当者の職場パトロール (毎月)	一般的安全運転の指導・監督 (法定12項目) 運転記録証明書の取得(全社員)											
3	シートベルト着用強調月間 (3/1~31)		車両点検整備講習会 (講師:整備管理者)	有所見者の医師意見聴取 健康診断結果報告(監督署) ストレスチェック実施報告(監督署)			経営トップの職場パトロール	基本方針・目標の検討 安全管理規程の見直し 安全統括管理者の検討 内部監査実施											
評価○△×	○	○	△	△	△	○	△	○											
前年(度) 重点施策の 反省、問題点 等	安全衛生委員会は毎月定期的に開催 できた。各種団体を通じ、事故防止のた めの交通安全運動に積極的に参加し た。	法定点検及びクレーン年次点検は確実 に実施されている。	職長・安全衛生責任者教育及び技能 講習等の計画的取得がされなかった。講 習会等の参加率が低いため、魅力ある 講習内容を立案し更なる参加率の引き 上げが必要である。	定期健康診断の有所見率が前年同様 に高い。産業医と連携して健康保持増 進対策及び健康起因事故防止に向けた 取り組み促進が必要である。	リスクの洗い出し及び低減方法の検討会 の議論が低調であるので、活性化が必要 である。	作業標準の見直し作業については新たな 作業の都度行っている。	パトロール全体が形骸化傾向で、中身の 濃いパトロールの実施をする必要がある。 ヒヤリハット情報の収集量が少なく、社内 の情報共有が希薄であった。	活動は概ね良好ではあるが、点呼時の 濃いパトロールの実施をする必要がある。 ヒヤリハット情報の収集量が少なく、社内 の情報共有が希薄であった。											

※計画は、作業場の見やすい箇所に掲示しましょう。 ※計画は、毎月の実施状況をチェックしましょう。実施が繰り返されたものは、その理由・原因を明確にして次回の実施を確保しましょう。
※毎月の計画の実施にあたっては、事前に日時・対象・準備に必要な手順等を具体的に検討して実施計画を立てましょう。